

さいしょははじけるように、どうちゅうは、あれれと考える。

さいばん中は、ハア〜フウ〜ン。さいごは、ぬのに水がしみるように。

(一郎を演じた6年生の感想文より)

新型コロナウイルス第8波の中、感染とインフルエンザ感染も重なり、キャンセルも多くあり、練習やリハーサルをした方たちの何人かは参加できませんでした。が、「久しぶりに参加できて楽しかったです。子どもの頃と大人になってからどちらも楽しめました。(ナレーション出演して劇をリードしてくださった参加者の感想文より)」



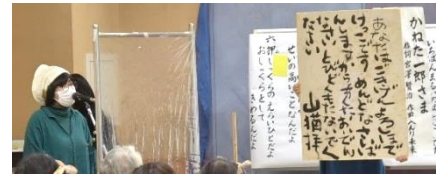
アンクルンの練習 2022/11/19 2022/12/23 2023/1/7 リハーサル

音楽 テーマ曲を、へんり未来さんに作曲していただき、劇全編に取り入れ演奏しました。山猫からの手紙や、栗の実・滝・キノコの音楽にも曲をつけていただきました。

衣装 登場人物の衣装は河原雅子さんが主に作っていただきました。帽子制作講座受講者も自作の帽子をかぶって参加してくれました。

1、<賢治童話の世界へ>ミニ講演《みんなちがって、みんなスゴイ! 『どんぐりと山猫』のメッセージ》

「どんぐり一つでもよく見ていると、自然はいろいろのことを教えてくれます。あなただけへのお手紙を書いてくれます。ちょうど『かねた一郎』君に来たふしぎな手紙のように。」子どもたちにもおとなにも楽しい、宇宙に広がる学びのひと時でした。
講師 賢治研究者 横山英行さん



歌紹介時と劇中歌う野呂瀬加奈さん

2、<童話の世界をあじわおう1>観客参加型劇 童話<どんぐりと山猫>

永田京子先生のきめ細かな指導のもと、すばらしいナレーター陣にささえられて出演者も参加者も名演技が光りました。

毎年行っていた参加者が歌い踊ることはせず、音楽家・朗読家がマイクを使って演じ、参加者は朗読の一部に参加、拍手・机でリズムをとるなどして物語の場面を演じていただきました。



参加者も栗の木やキノコやどんぐりのセリフで出演



山猫からののがきに誘われて一郎は森に出かけ栗の木やリスや滝やキノコに出会います



馬車別当役横山英行さん 山猫、一郎



さあ、おうちへお送りいたしましょう。

3、<童話の世界をあじわおう2>



思いを絵や言葉で紙に書いていただいて、マイクを通して思いを語り合いました。

<どんぐりと山猫>は森の音にあふれています。参加者もこきりこ・アンクルンを鳴らしてどんぐりや栗の実になりました。



スタッフお土産 野菜パンとどんぐりパン



参加者に配られた「料理をつくろう」講師 友國シェフプロデュースの山猫の舌 リングーエ ティーガット。運営委員さんの力作です。今年も会場で会食せず、持って帰っていただきました。

なんだか明野の秋のどんぐり広場に来たようなとても楽しい雰囲気となりました。子ども達や横山さんの演技もすばらしかったが効果音や曲もとてもよく合っていた。この話しは明野のどんぐりの森が舞台なんだなあ。(参加者の感想文より)